

# Action

町田市立薬師中学校  
第2学年  
令和7年6月27日  
第14号



## 体育祭 作文紹介



### 『初めての体育祭』2年1組 生徒

転入して1ヶ月がたった頃、5月の1番の行事「体育祭」が始まった。正直このクラスにまだ馴染めていなかったし、体育祭を成功させられるかすごく不安だった。

僕の出場する競技は、4種目で「大縄跳び」、「綱引き」、「学級リレー」、「選抜リレー」の種目に出場することになった。選抜リレーに出場することになったときは、驚きや不安が募った。

最初に始まった練習はリレーだった。リレーの課題はバトンパスだったけど何回か練習していくうちにクラス全員が上手くなり、クラスの人ができる人から教えてあげている人がいて良いクラスだと改めて思い、「絶対優勝してやる」という思いが強くなった。

次に大縄跳びの練習が始まった。大縄跳びは、最初から何回か連続で跳べていて2回目以降からは、10回以上連続で何回か跳べていた。大縄跳びは、絶対に落とせないと思った。

次は綱引きの練習が始まった。最初に練習、対戦したときは全然勝てず諦めかけていたが、先生の言葉を思い出した。「言葉は気持ちをつくる」この言葉を思い出して、「もう諦めた」「もう絶対勝てない」などのマイナスな言葉を口にせず、プラスな考えをするようにした。そして、クラスの課題は姿勢とクラスの息があっていないことだった。課題を改善するため、動画を見たり縄を引くときの掛け声を決めた。姿勢や掛け声を決めたことで少しずつ勝てるようになった。

そして迎えた体育祭本番。雨で2回潰れグラウンドコンディションが悪かったが始まった。最初に始まった種目は「大縄跳び」A、B合わせて練習の時より跳んで勝つことができた。

次の種目は、「綱引き」で一番不安だったが、Aが同率三位でBが決勝戦に進出し見事に優勝することができた。「綱引き」は、Aチームだったが優勝できたのがとてもうれしかった。

次に始まったのが、学級リレー。僕は、1番手ですごく緊張したけど一番早くバトンを渡すことができた。ホッとした。しかし、最後のバトンを控えていた。「選抜リレー」点差は、AかBどちらかが2位取れば優勝の場面、足が重く感じた。僕は、第三走者でほぼ同着でバトンが来た。バトンをうけとり走って少し差をひらかせることができたが、次の第四走者のところで追い抜かれてしまった。そこから逆転することができず3位と4位で終わってしまった。結果は、同率1位という結果になった。

僕は、今回の体育祭で学んだことは、「諦めない」ということが大切だと学んだ。この「諦めない」ことを授業や次の体育祭に生かしていきたいと思った。

### 『体育祭』2年2組 生徒

私が体育祭を通して頑張ったことは4つあります。

1つ目は、大縄です。今年は2クラスになって1チームの人数が多くなって大縄をするのが大変で、並び方を変えたり、並び順を変えたりするなど色々な部分で工夫をして記録を伸ばそうと頑張りました。最初は2分間で47回しかとべなくてすごい悔しかったです。昼休み練習をしても記録が伸びないから悲しかったけど体育祭本番では97回とべて1組には勝てなかったけど、2組のなかでの最高記録が出たから嬉しかったです。

2つ目は綱引きです。今年から2年生の学年種目が綱引きになって最初はすこし楽みな気持ちが強かったです。練習を始めて初めて1組と綱引きをしたときに勝ててとても嬉しかったです。でも体育祭が近くなっていくにつれて1組がどんどん力をつけてきて負けることが多くなりました。毎回負けて教室に戻ったらクラスみんなで「体がくの字になってたよ」とか「かかるとに体重かけないと」などみんなでアドバイスしあいながら練習しました。体育祭本番は、1位をとることができなかったけど、みんなで協力しながら体育祭の練習ができて楽しかったです。

3つ目は全級リレーです。自分は青チームのアンカーで走るようになって初めてのアンカーだったからとても緊張しました。1組と初めて一緒に走って競ってみるとバトンパスがなかなか上手にできなくて結果がよくなかったのが悔しかったです。全級練習でトラックがつかえる日は積極的にバトンパスの練習をしました。体育祭本番では、2位と3位をとることができて練習をしてよかったなと思いました。

4つ目は代表リレーです。代表リレーではバトンパスがとてうまくいって練習で1位と2位がとれました。でも気を抜かずにバトンパスの練習をしたり走り出すタイミングを変えたりして体育祭本番でも1位と2位をとって同点で終わらせることができました。

今年の結果は同点で終わってしまったけどクラスみんなで協力したり作戦を考えて頑張れたから楽しかったです

## 前向きな姿勢



本日最終日を迎えた期末考査。この3日間の皆さんの様子からは、決して楽しいこととは言えない「テスト」に対して、きちんと取り組もうとしている人が多いことが見てとれました。いつもより早く登校してくる様子、テストの後にみんなで答えを確認している様子、次のテストに向けて時間ぎりぎりまで確認している様子、必死に問題を解いている様子。学習計画表に記入された計画にも「時間の使い方を見直す」「スマホを制限する」など、自分自身をコントロールするための目標が多くみられました。

そんな2年生の姿は、これからますますの成長を予感させます。